

周辺の見所



A 大森の町並み

武家、町家、社寺が立ち並び、かつての鉱山町の雰囲気を残す大森の町並みは、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。



B 仙(せん)ノ山

銀鉱石は、最大の大久保間歩をはじめ主にこの山から掘り出された。



C 矢滝(やたき)城跡

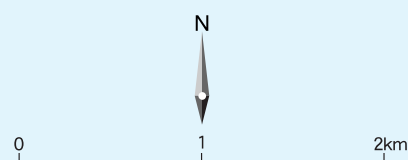
標高634mの山頂は眺望がよく、仙ノ山、山吹城跡、三瓶山、温泉津港までパノラマが広がる。



D ヨズクの里

ふくろう(ヨズク)の姿に似た独特の形をしているハデ(秋に刈り取った稲を天日干しするもの)は、ヨズクハデと呼ばれる。

中国自然歩道 石見銀山街道コース 温泉津・沖泊道



◎石見銀山遺跡エリア地図 (C)200605

- 中国自然歩道 温泉津・沖泊道モデルコース(車道区間)
- 中国自然歩道 温泉津・沖泊道モデルコース(歩道区間)
- その他の中国自然歩道(車道区間)
- その他の中国自然歩道(歩道区間)
- その他のトレッキングコース(車道区間)
- その他のトレッキングコース(歩道区間)
- 銀山街道関連遺跡
- 🔍 観光案内所
- 🚻 トイレ
- 🅇 駐車場
- 📖 案内看板
- 🗺 指導標



13 沖泊(おきどまり)港

16世紀後半に銀の積出し等で栄えた天然の良港。柳島(しじま)へ続く湾岸部には船をつなぐ「鼻ぐり岩」が多数見られる。



12 ゆゆう館

1300年の歴史を有する温泉津温泉の温泉津港側の玄関口にあり、2階が資料館、1階が休憩所となっている。蛇島



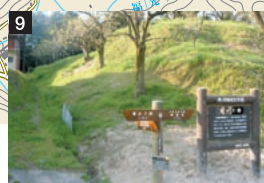
11 やきもの里

やきもの里には、「ハンド」と呼ばれる大きな水瓶が有名な温泉津焼の巨大な登り窯があり、やきもの創作体験もできる。細い道を下れば温泉津温泉街方面。産業道路を西へ進めば沖泊方面。



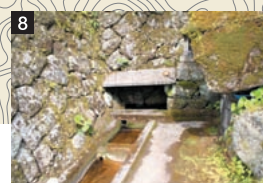
10 松山の道標(車道・歩道分岐点)

「右銀山大森・いづも大社」と刻まれた福光石の道標。



9 清水(しみず)大師入口(車道・歩道分岐点)

ここから約2km車道を上った高台に清水大師寺があり、180度日本海を望める絶景である。



8 清水の金柄杓(かなびしゃく)

清水集落の民家の石垣の下から泉がわき出ている。銀山街道を往來する人々はこので湯いたのどを潤した。名前は代官が金属のひしゃくを奉納したこと由来する。



7 中村の題目塔(車道・歩道分岐点)

歩車道分岐点から約10m東側に中村の題目塔があり、側面には「右ハゆさみち／左ハゆのつみち」と記されている。



6 五老(ごろう)橋(歩車道分岐点)

降路坂の西の登り口。車道(県道201号線)を下れば西田の集落。車道を約2.5km上り、トンネルの先の登山道入口から約30分登山道を登ると矢滝城山の山頂に着く。



5 降路坂(ごろうざか)の茶店跡(峠)

降路坂(ごろうざか)は、温泉津沖泊道最大の難所で、峠にはかつてあった茶店の礎石が残る。



4 坂根口(車道・歩道分岐点)

降路坂の東の登り口。かつて、この付近に番所が設置されていた。



3 山吹城登山口

銀山街道・駒ヶ浦道の分岐点。山吹城は、標高414mの要害山山頂にある城跡で、戦国時代30年にわたって、小笠原・尼子・毛利氏らが銀山の支配を巡りこの城の争奪戦を繰り返した。



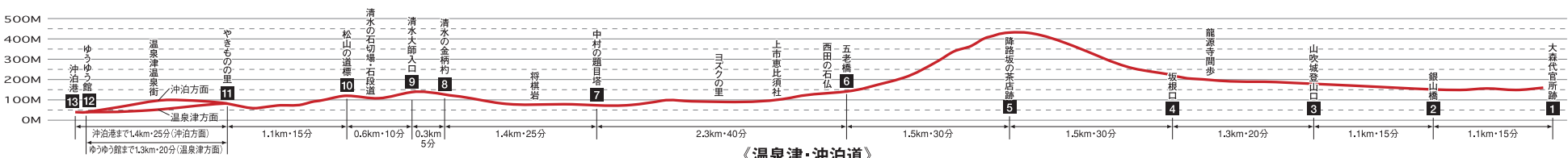
2 銀山橋(銀山公園入口)

銀山公園には、観光案内所や石見銀山ガイドの会の事務所があり、情報を入手することができる。また、300m先に羅漢(らかん)寺(五百羅漢)がある。

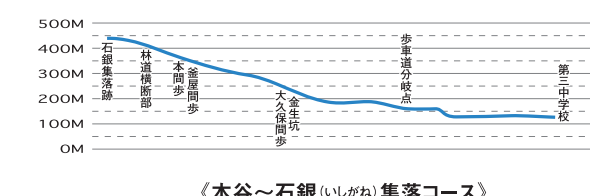


1 大森代官所跡(石見銀山資料館)

銀の採掘が最盛期だった江戸時代、銀山は天領となり、徳川幕府直轄の代官所が置かれた。当時の門や長屋も残る跡地は現在資料館となっている。



《温泉津・沖泊道》



《本谷～石銀(いしがね)集落コース》